

みんなの健康ラジオ

『放射線治療について①』

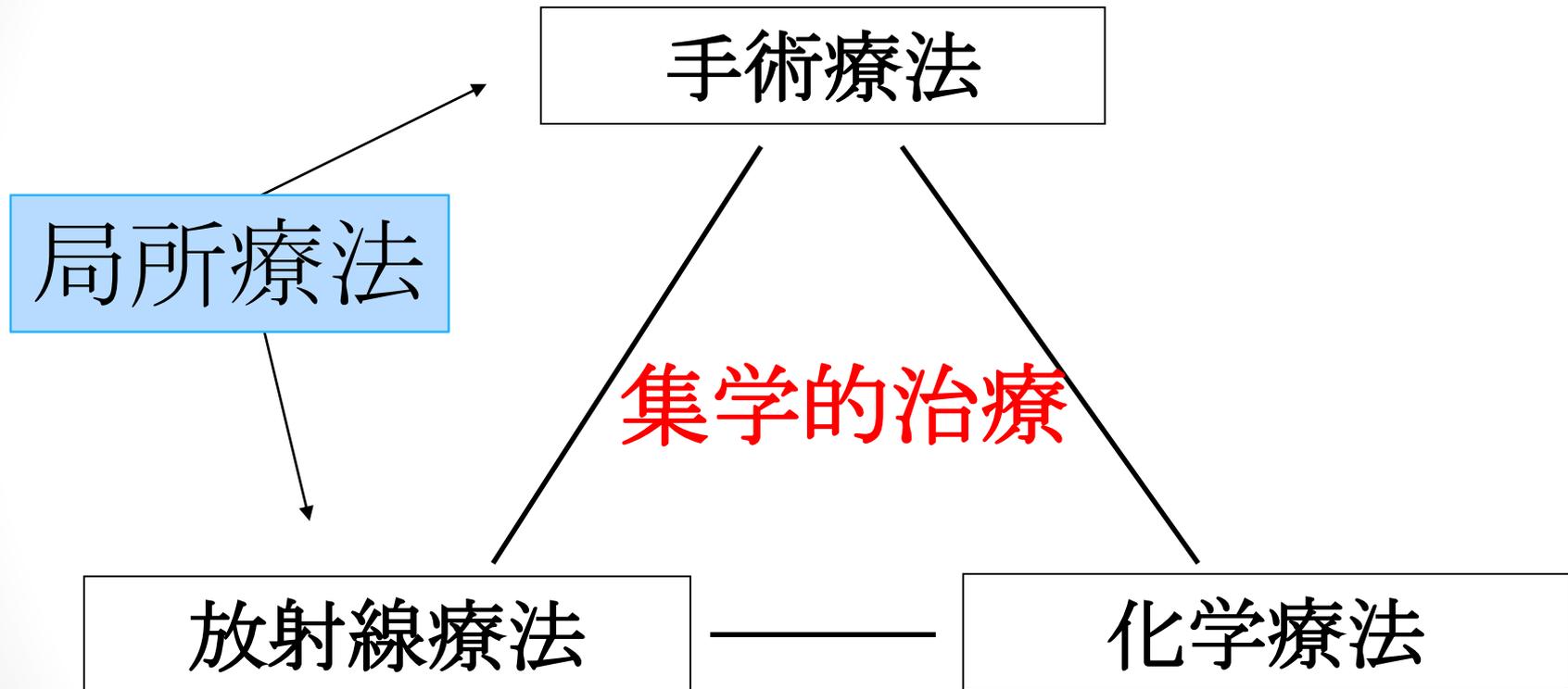
(2019年4月4日放送)

横浜放射線医会

横浜市立大学放射線治療学講座

小池 泉

がん治療の3本柱



完全に治すには、局所療法の成功が重要

代表的な外部放射線治療の装置

* 直線加速器
(リニアック)



- 仰向けで横になって、放射線治療を受ける
- 放射線はあたっても熱や痛みは感じない

放射線治療はあらゆる部位で貢献

- 2015年度放射線治療患者の疾患別施行割合
 - ①肺がん(19%)
 - ②乳がん(18%)
 - ③泌尿器がん(13%) : 前立腺がんなど
 - ④頭頸部がん(10%) : 咽頭がん、喉頭がん、舌がんなど
 - ⑤婦人科がん(7%) : 子宮頸がんなど

外来通院可能な放射線治療

- およそ6割強の方が、通院によって放射線治療を受ける。
- 放射線治療単独であれば、多くは外来での治療が可能。
- 治療期間は、1～8週間程度で、疾患や目的等によって異なる。
- 2部位以上複数箇所へ放射線治療を行う場合が、2割程度ある。

放射線治療の目的

- 放射線治療の目的には大きく2つある

- ①根治目的：

- 腫瘍の局所制御によって、生存期間の延長や治癒をめざす

- ②緩和目的：

- 腫瘍による周辺組織への影響を軽減して、症状を緩和する

- 放射線治療に何を期待するか

- 患者さんの治療ごとに目的をはっきりさせることが重要。

- ～目的により、放射線治療の範囲や線量などが異なるため。